

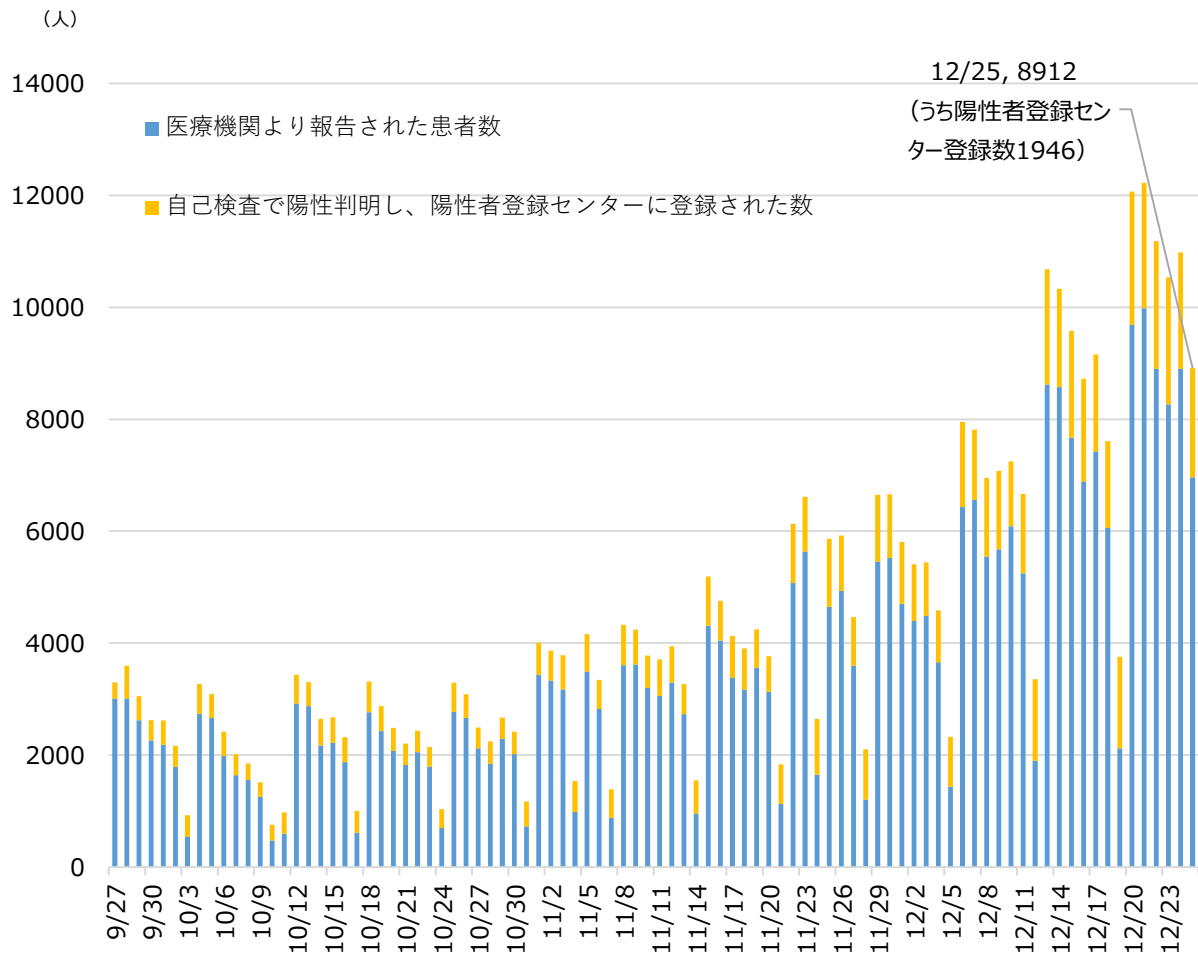
- |   |                  |        |
|---|------------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移         | P2~15  |
| 2 | クラスターの発生状況       | P16~18 |
| 3 | 【参考】インフルエンザの流行状況 | P19~20 |

# 1 陽性者数等の推移

# 陽性者数の推移（12月25日時点）

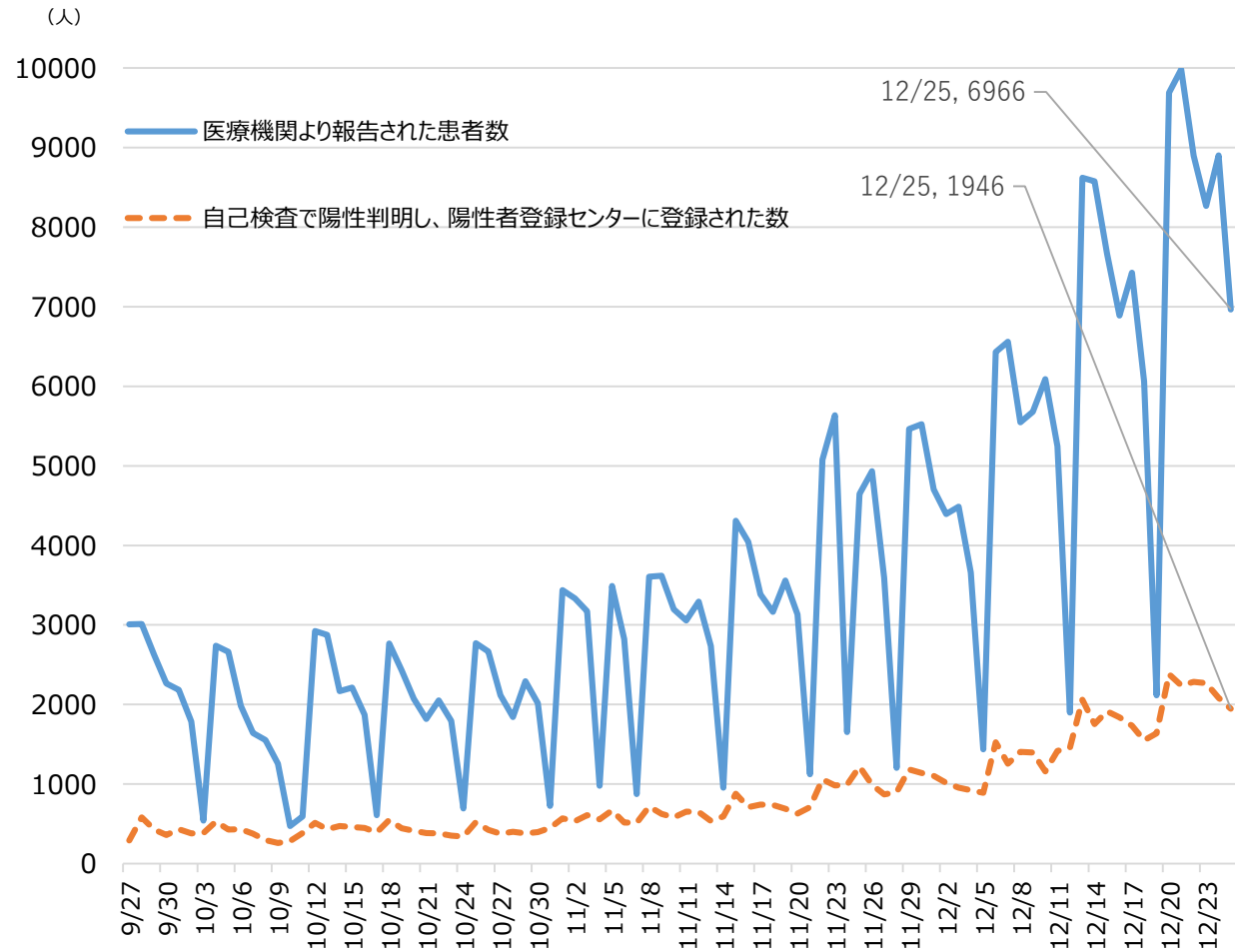
◆ 新規陽性者数は、増加傾向が続いており、医療機関より報告された患者数及び陽性者登録センター登録数もともに増加が続く。

【新規陽性者数】



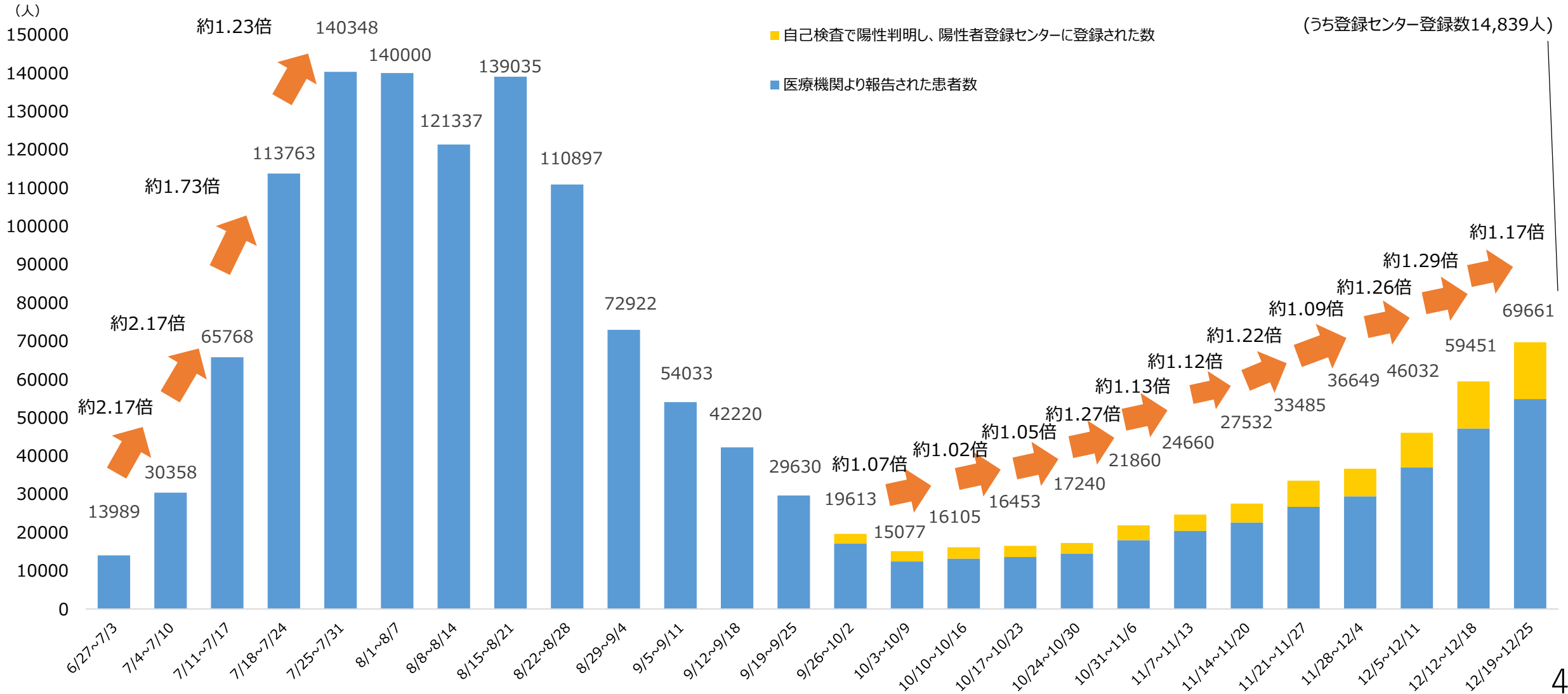
※新規陽性者数は、医療機関より報告された患者数及び大阪府陽性者登録センター登録数の合計

【新規陽性者数の内訳（医療機関より報告された患者数、陽性者登録センター登録数）】



# 7日間毎の新規陽性者数（12月25日時点）

◆ 直近1週間の新規陽性者数は、増加傾向が続いており（1日平均約9,952人）、11週連続で増加。



# 新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移(12月25日時点)

上段：新規陽性者数  
下段：前週同曜日増加比

## ◆ 新規陽性者数の前週同曜日増加比1を超過した状態が継続。

		日	月	火	水	木	金	土	
10月		2	3	4	5	6	7	8	週合計
		2,167 (0.48)	922 (0.41)	3,268 (0.99)	3,090 (0.86)	2,417 (0.79)	2,016 (0.77)	1,849 (0.71)	15,729 (0.72)
		9	10	11	12	13	14	15	週合計
		1,515 (0.70)	755 (0.82)	976 (0.30)	3,434 (1.11)	3,305 (1.37)	2,643 (1.31)	2,674 (1.45)	15,302 (0.97)
		16	17	18	19	20	21	22	週合計
		2,318 (1.53)	999 (1.32)	3,314 (3.40)	2,876 (0.84)	2,483 (0.75)	2,204 (0.83)	2,432 (0.91)	16,626 (1.09)
		23	24	25	26	27	28	29	週合計
	2,145 (0.93)	1,034 (1.04)	3,294 (0.99)	3,088 (1.07)	2,494 (1.00)	2,245 (1.02)	2,670 (1.10)	16,970 (1.02)	
11月		30	31	11月1日	2	3	4	5	週合計
		2,415 (1.13)	1,171 (1.13)	4,007 (1.22)	3,866 (1.25)	3,781 (1.52)	1,535 (0.68)	4,159 (1.56)	20,934 (1.23)
		6	7	8	9	10	11	12	週合計
		3,341 (1.38)	1,390 (1.19)	4,325 (1.08)	4,244 (1.10)	3,780 (1.00)	3,709 (2.42)	3,944 (0.95)	24,733 (1.18)
		13	14	15	16	17	18	19	週合計
		3,268 (0.98)	1,547 (1.11)	5,188 (1.20)	4,754 (1.12)	4,126 (1.09)	3,904 (1.05)	4,249 (1.08)	27,036 (1.09)
		20	21	22	23	24	25	26	週合計
	3,764 (1.15)	1,834 (1.19)	6,136 (1.18)	6,615 (1.39)	2,644 (0.64)	5,868 (1.50)	5,923 (1.39)	32,784 (1.21)	

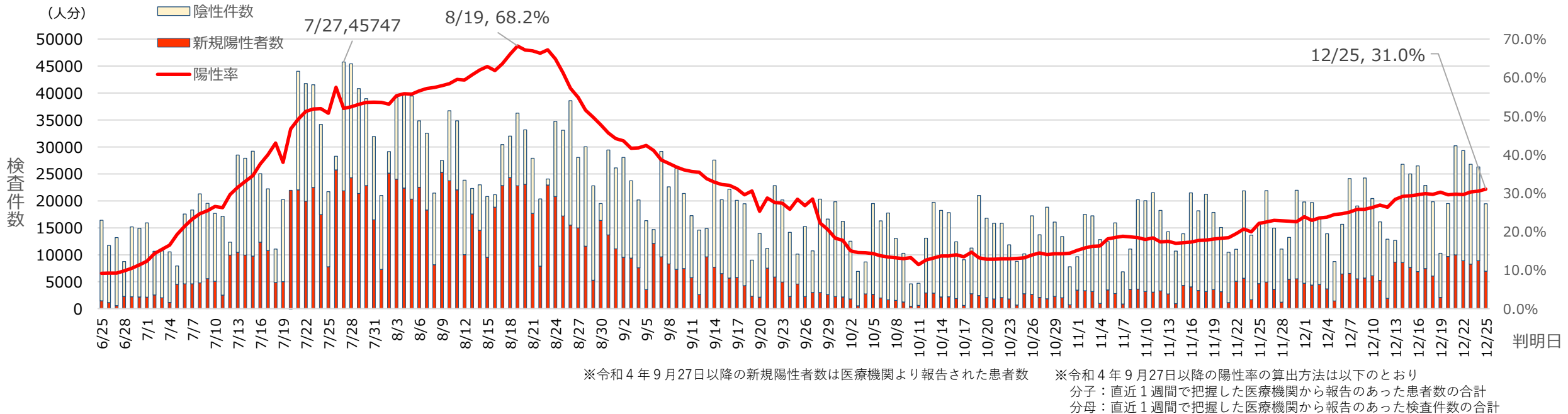
		日	月	火	水	木	金	土	
12月		27	28	29	30	12月1日	2	3	週合計
		4,465 (1.19)	2,102 (1.15)	6,646 (1.08)	6,661 (1.01)	5,806 (2.20)	5,409 (0.92)	5,443 (0.92)	36,532 (1.11)
		4	5	6	7	8	9	10	週合計
		4,582 (1.03)	2,326 (1.11)	7,955 (1.20)	7,815 (1.17)	6,950 (1.20)	7,076 (1.31)	7,247 (1.33)	43,951 (1.20)
		11	12	13	14	15	16	17	週合計
		6,663 (1.45)	3,355 (1.44)	10,679 (1.34)	10,334 (1.32)	9,585 (1.38)	8,725 (1.23)	9,161 (1.26)	58,502 (1.33)
		18	19	20	21	22	23	24	週合計
	7,612 (1.14)	3,753 (1.12)	12,068 (1.13)	12,223 (1.18)	11,182 (1.17)	10,537 (1.21)	10,986 (1.20)	68,361 (1.17)	
	25	26	27	28	29	30	31	週合計	
	8,912 (1.17)								

# 検査件数と陽性率（12月25日時点）

◆ 陽性率は12月25日時点で31.0%で、増加傾向が続いている。

12月12日～18日の1週間における陽性判明率は、自費検査は7.1%、無料検査は6.9%と、共に増加傾向。

## 【行政検査】



## 【自費検査】

自費検査提供機関（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び新型コロナウイルス検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
11/28～12/4	3,071 件	174 名	5.7 %
12/5～12/11	3,846 件	181 名	4.7 %
12/12～12/18	3,619 件	257 名	7.1 %

## 【無料検査】

新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数  
(ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計)

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
11/28～12/4	61,031 件	2,643 名	4.3 %
12/5～12/11	62,273 件	3,201 名	5.1 %
12/12～12/18	57,329 件	3,936 名	6.9 %

※このほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査を実施。

※陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としている。  
(陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査、のいずれかで陽性となったかは区別ができない。)

# 発熱外来ひっ迫判断の参考指標の状況

◆ 発熱外来ひっ迫判断の参考指標については、いずれも目安を超過していないものの、増加が続いており、注視が必要。  
 (第七波では、外来ひっ迫と病床ひっ迫(大阪モデル赤信号点灯)がほぼ同時期に生じた。)

## 発熱外来ひっ迫判断の参考指標 (R4.9.14 第81回対策本部会議決定)

※次の指標をもとに総合的に判断する

指標	目安	現在の状況 (12月25日時点)
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数 (HER-SYSに登録があった者に限る)	1,000人超	622人
1週間平均陽性率 (HER-SYSに登録があった数を分子とする)	50%超	31.0%
医療機関における検査数の1週間平均	30,000件超	25,247件

### 感染急拡大時の対応

#### ①発熱外来

セルフ検査等の活用について呼びかけ強化  
 発熱外来の受診対象の重点化  
 休日診療所等における発熱外来実施

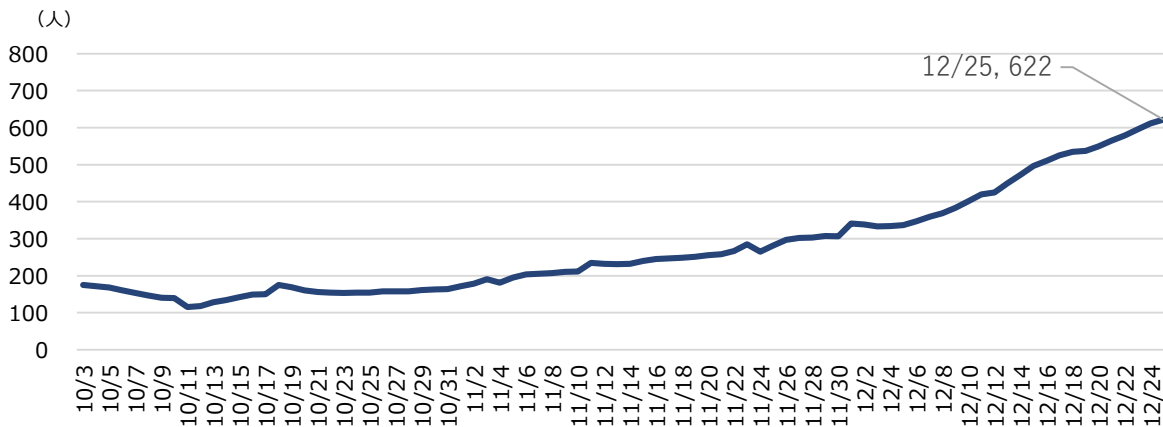
#### ②健康FC

登録者増に備えて自宅待機SOS等の体制を拡充

#### ③自宅療養者 支援

オンライン診療・往診センターの体制を拡充

【直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数】  
 (医療機関より報告された患者数より算出)



【参考】第七波における参考指標(現指標を当てはめた場合)と  
 大阪モデルステージ移行の状況

外来ひっ迫判断参考指標	目安を満たした日
直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数 (HER-SYSに登録があった者に限る)	7月22日
1週間平均陽性率 (HER-SYSに登録があった数を分子とする)	7月22日
医療機関における検査数の1週間平均	7月24日
<b>大阪モデル</b>	<b>目安を満たした日</b>
赤信号(非常事態)	7月27日

# ゲノム解析による変異株の検出状況

直近1週間（12/12-12/18）における検出割合

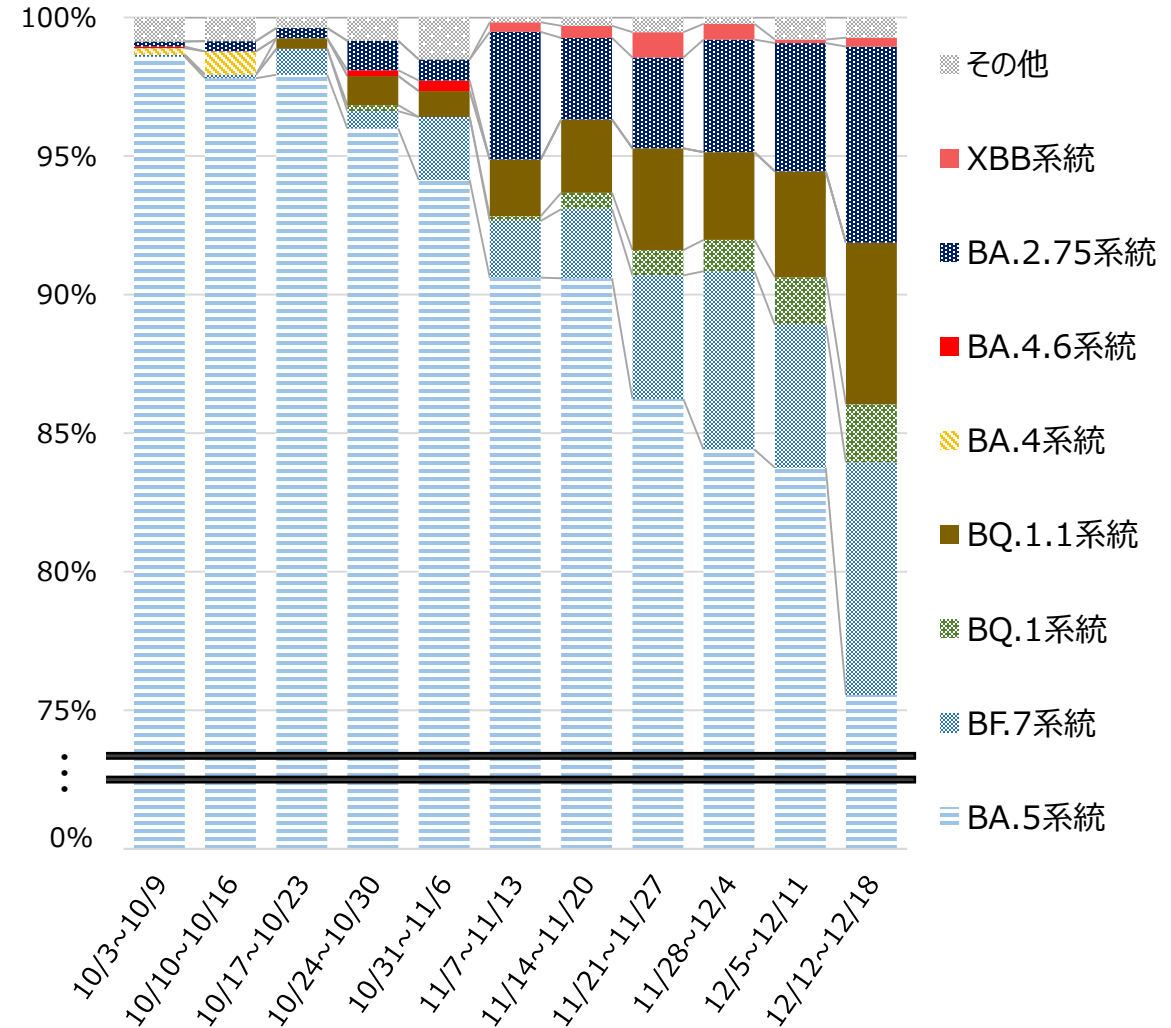
亜系統 pango lineage	解析件数	検出割合
累計	1,644 件	—
BA.2.75系統	108 件	6.6 %
BA.4系統	0 件	0 %
BA.4.6系統	0 件	0 %
BA.5系統	1153 件	70.1 %
BF.7系統	128 件	7.8 %
BQ.1系統	32 件	2.0 %
BQ.1.1系統	89 件	5.4 %
XBB系統（組換え体）	4 件	0.2 %
その他（BA.2系統等）	12 件	0.7 %
判定不能	118 件	7.2 %

子孫亜系統の件数を含む。（例）BA.2.75系統 → BA.2.75.3.1等を含む

（※）BA.4とBA.4.6は別々に計上

（※）BA.5とBF.7とBQ.1とBQ.1.1は別々に計上

週別の検出割合（判定不能を除く）

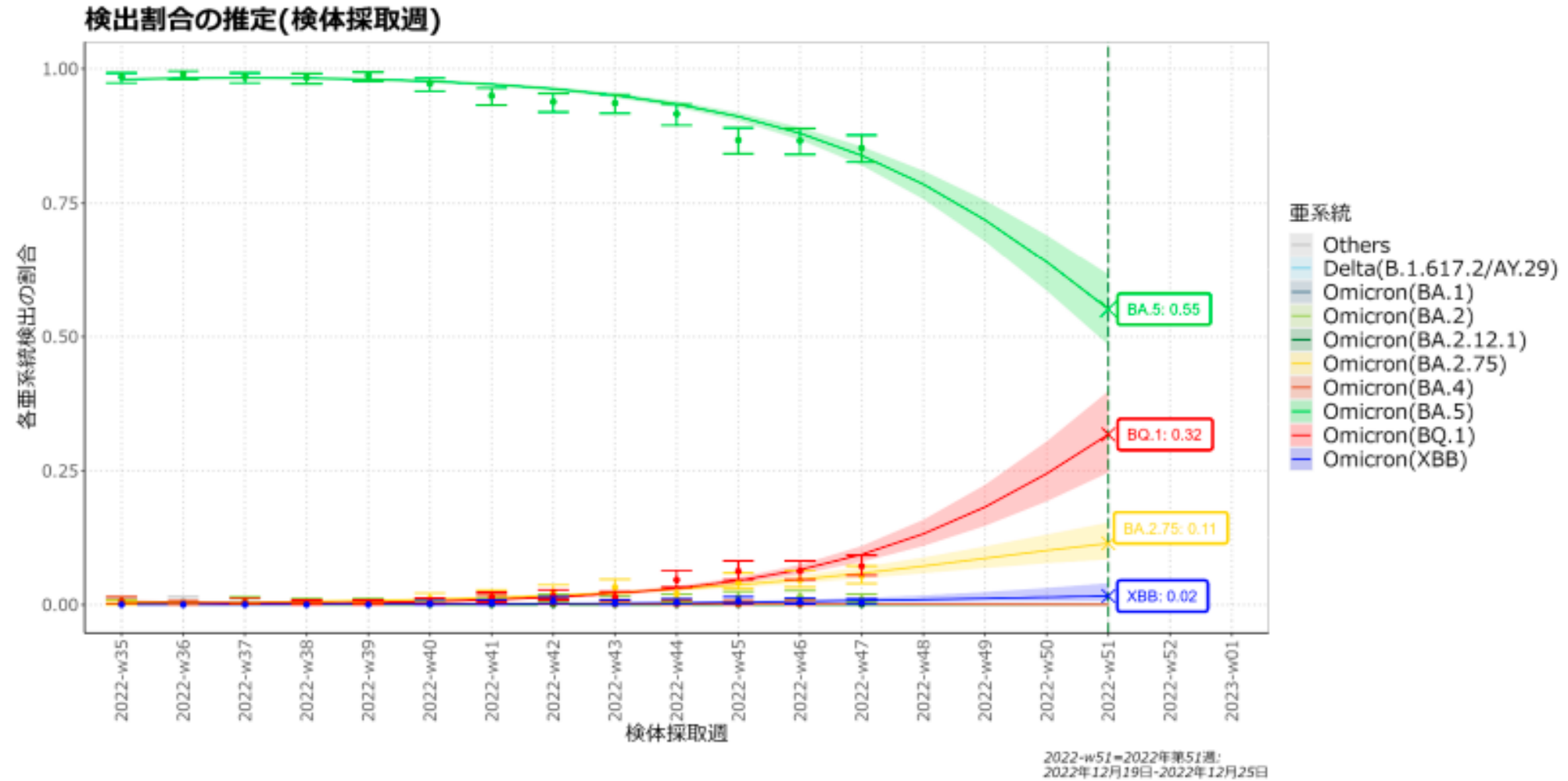


※ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象にしているため、変異株スクリーニング後の全検体に対して実施しているわけではない。



# 【参考】亜系統検出割合の推定(12月15日時点)

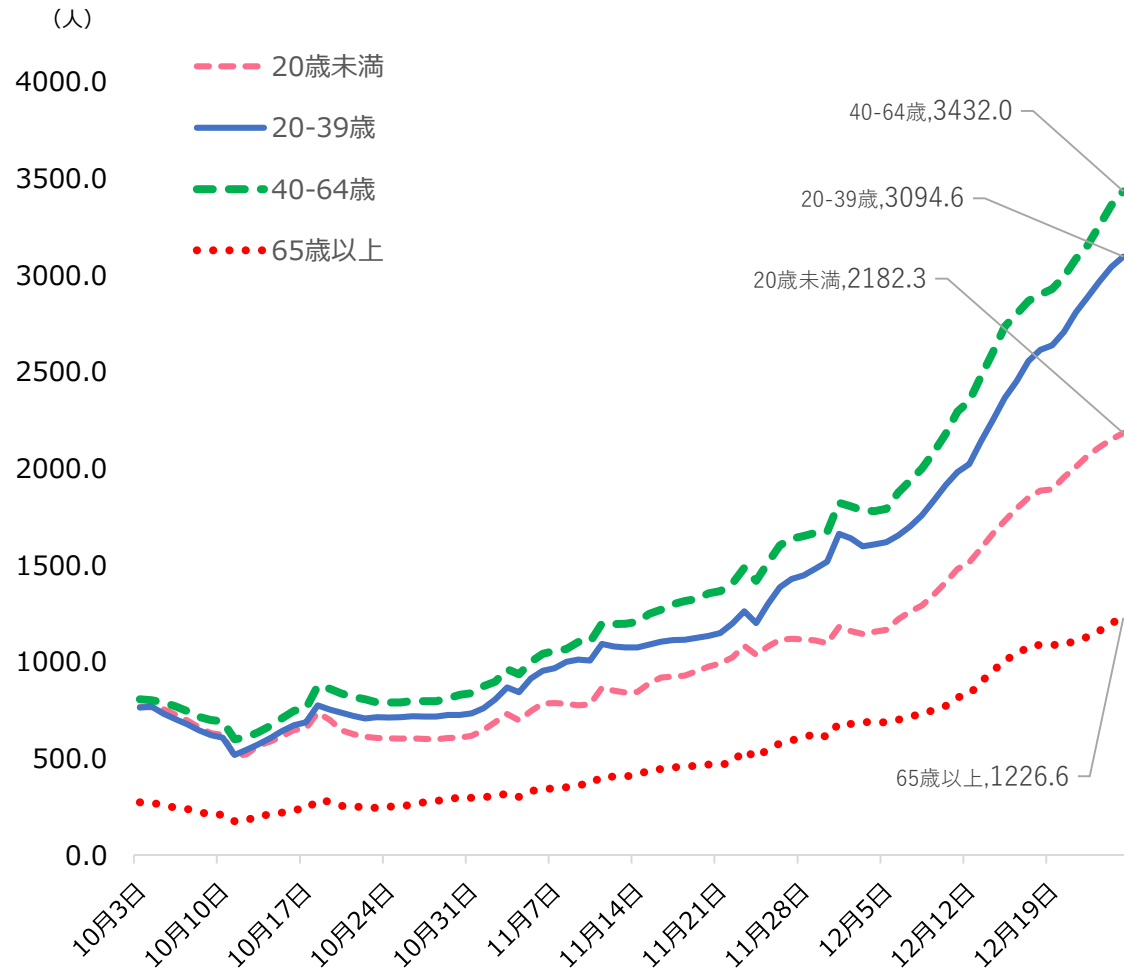
〈出典〉第111回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和4年12月21日)



# 陽性者の年齢区分（12月25日時点）

◆ 直近の年代別新規陽性者数は、全年代で増加が続いている。

【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）】



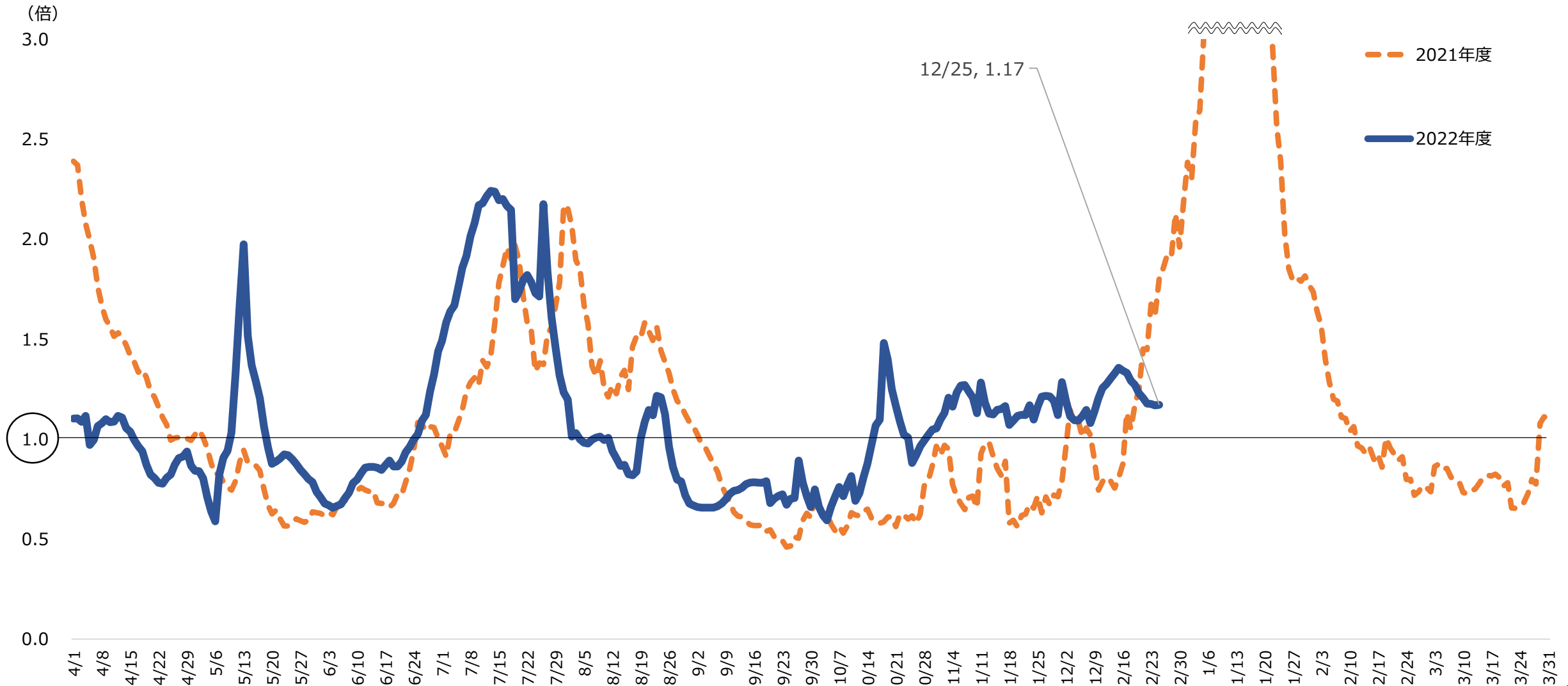
【年代別新規陽性者数（7日間移動平均） 前日増加比】

	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日
20歳未満	1.03	1.02	1.00	1.03	1.03	1.03	1.02	1.02	1.02
20~39歳	1.04	1.02	1.01	1.03	1.04	1.03	1.03	1.03	1.02
40~64歳	1.02	1.01	1.01	1.02	1.03	1.02	1.03	1.03	1.02
65歳以上	1.04	1.01	1.00	1.00	1.02	1.02	1.03	1.03	1.02

前日増加比が1を超過した日

# 新規陽性者数移動平均 前週増加比（12月25日時点）

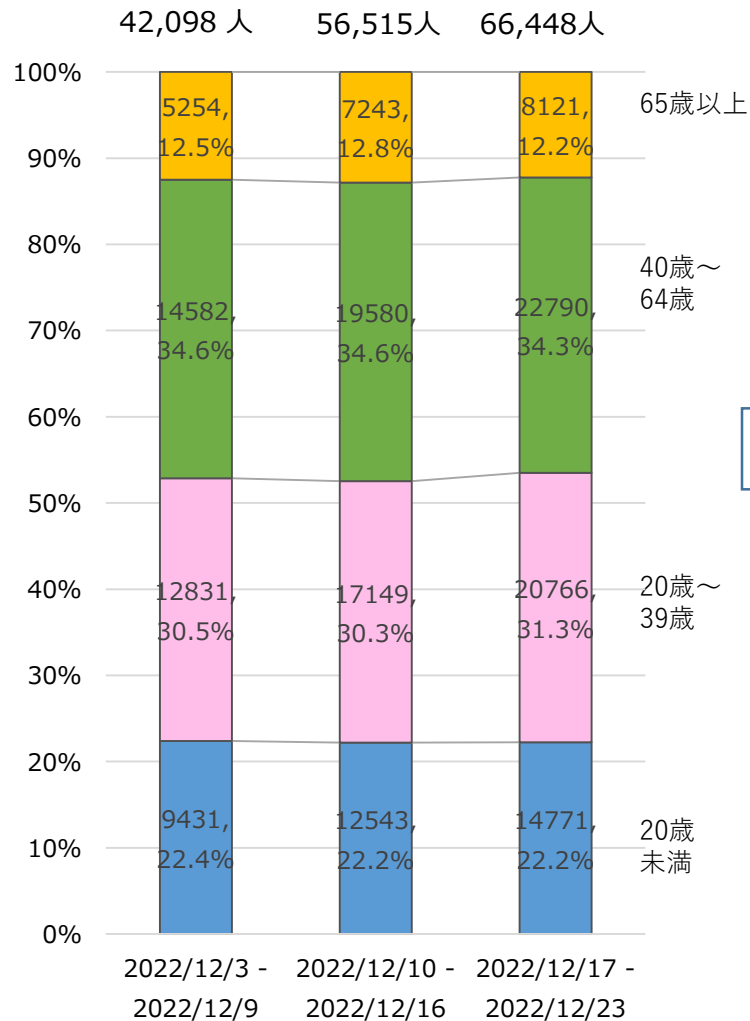
◆ 新規陽性者数前週増加比は、1を超過した状態が継続。  
（令和3年度は年末から年始にかけて前週増加比が大きく増加（令和2年度も同傾向））



# 陽性者の年齢区分（12月23日時点）

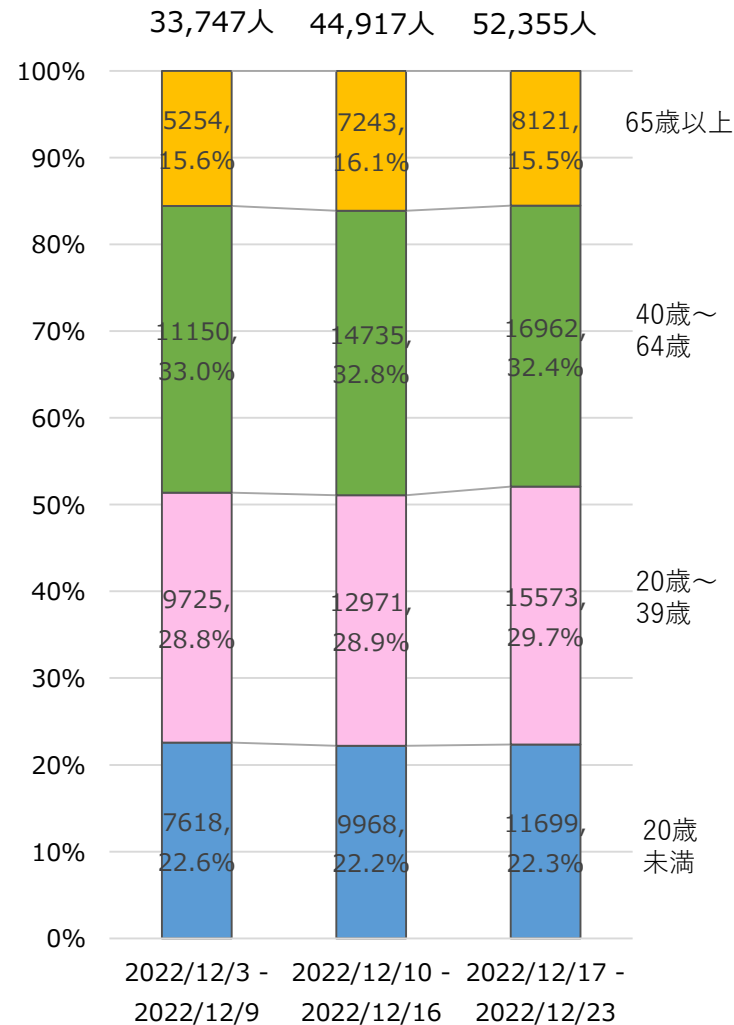
◆ 陽性者の年齢区分は、前週とほぼ同傾向。

■ 全陽性者（①+②）

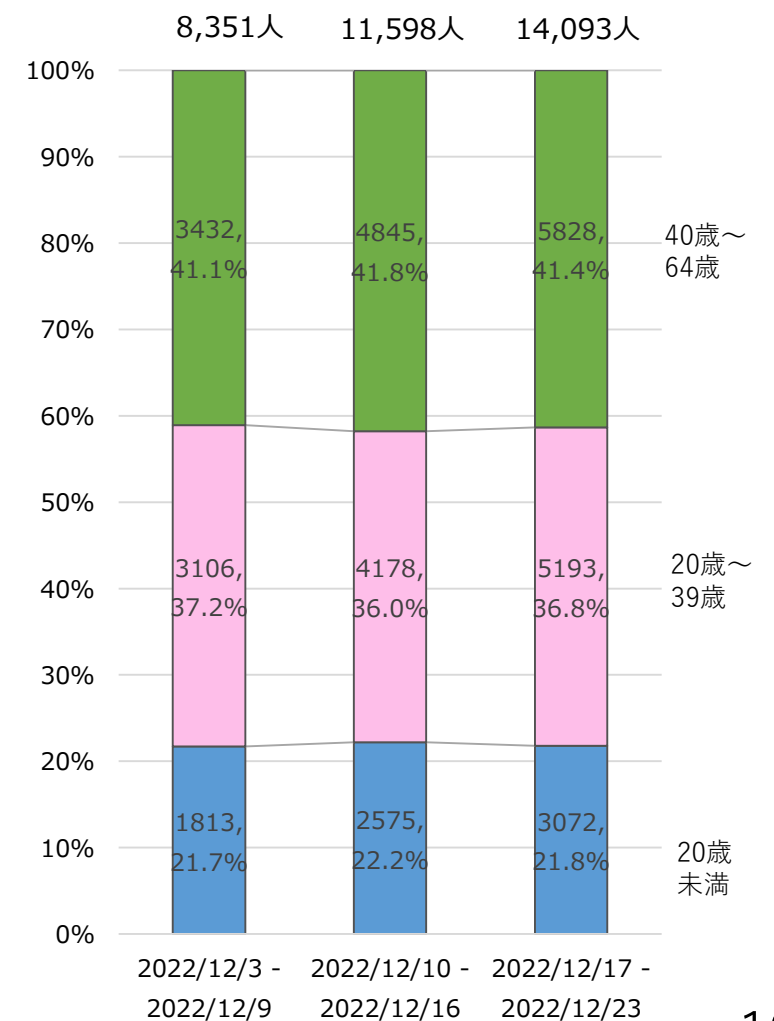


内訳

① 医療機関から報告された患者



② 自己検査で陽性判明し、陽性者登録センターに登録された患者

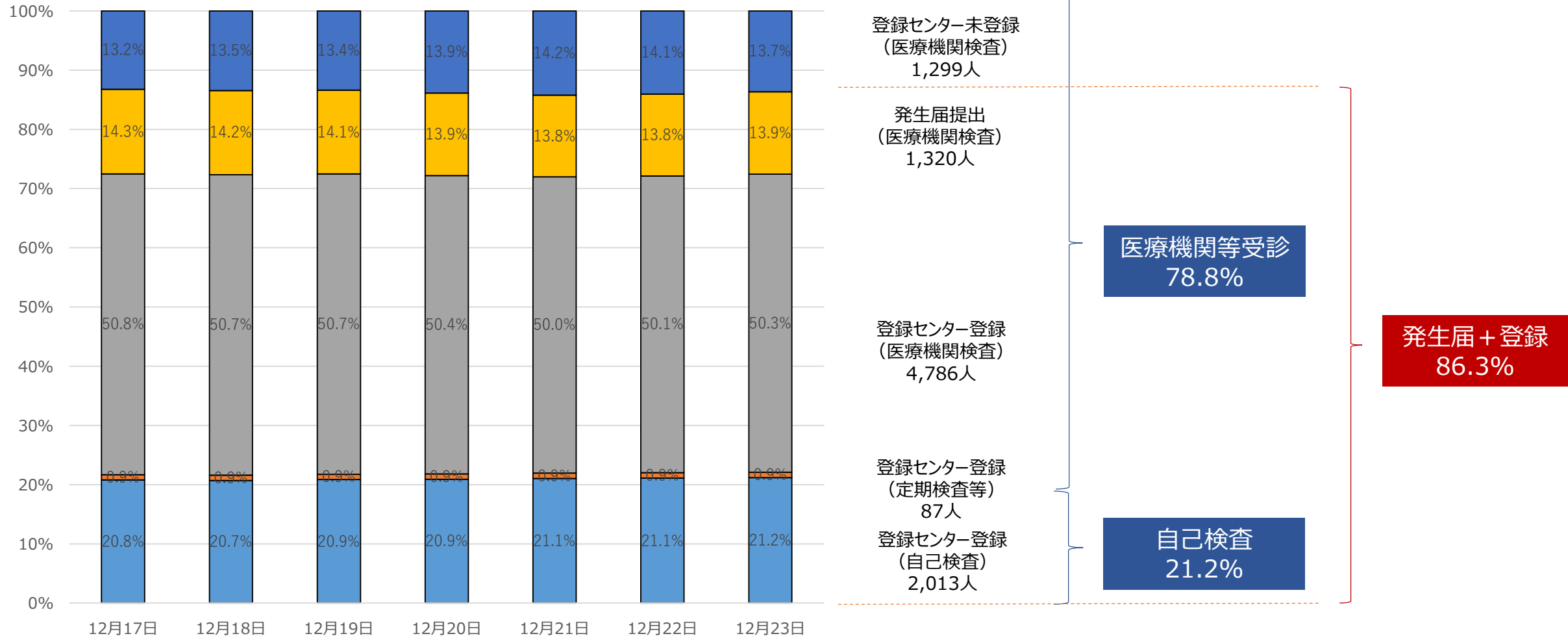


※年齢不明を除く。

# 新規陽性者数の内訳（直近7日間移動平均）（12月23日時点）

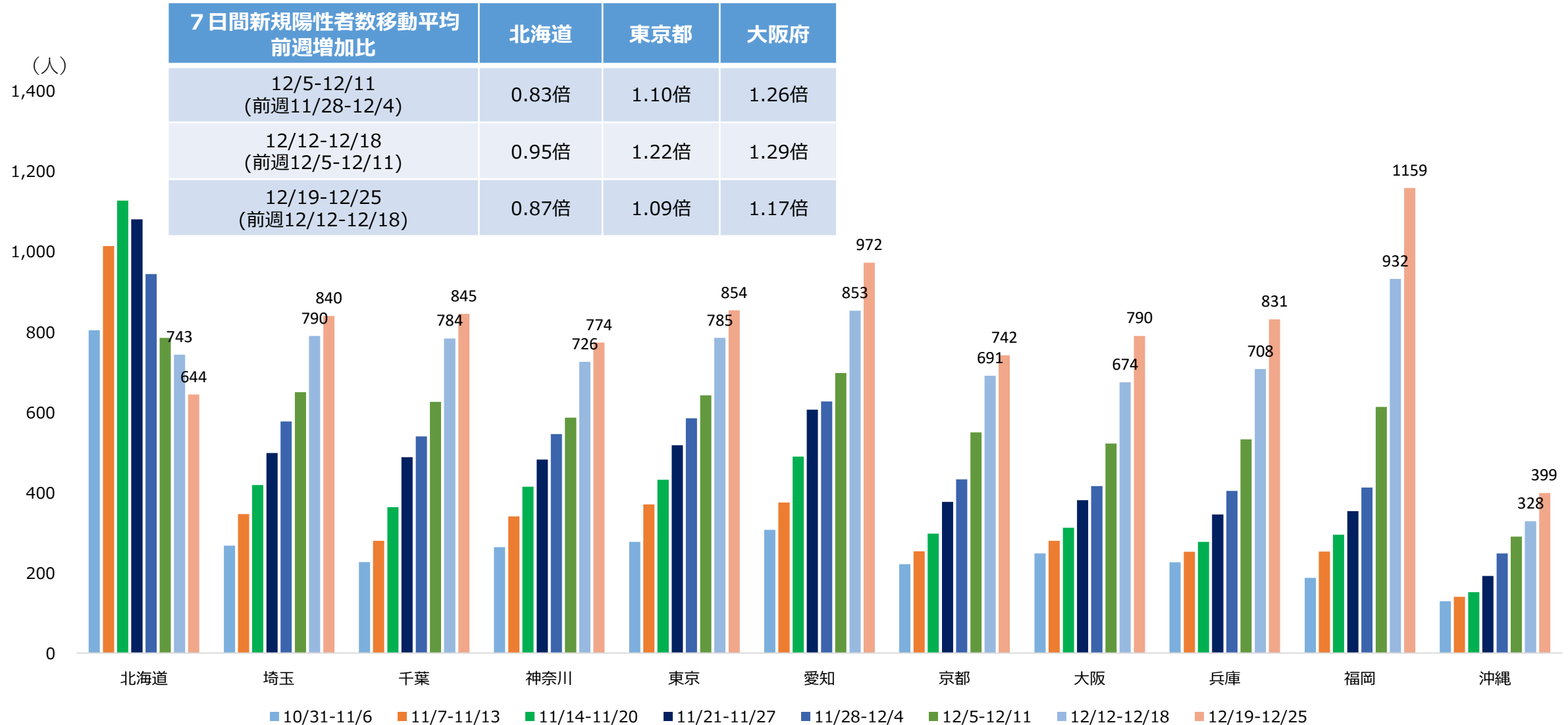
◆ 新規陽性者（直近7日間移動平均）のうち、発生届対象は13.9%（1,320人）。  
自己検査を実施し陽性者登録センターに登録した方は、21.2%（2,013人）でほぼ横ばいで推移。

新規陽性者数の内訳



# 各都道府県 週・人口10万人あたり新規陽性者数の状況(12月25日時点)

◆ 週・人口10万人あたり新規陽性者数は、北海道は減少が続くが、全国的に増加が続いている。直近1週間の増加速度は、やや減少。



※数値は大阪府による分析に基づく

# 新型コロナワクチンの年齢別接種率

- ◆ 3回目接種の割合は、全年齢では約6割であり、30代以下では5割を下回っている。
- ◆ 4回目接種の割合は、65歳以上で78.9%（60歳以上では75.9%）。
- ◆ 5回目接種の割合は、65歳以上で42.3%。
- ◆ オミクロン株対応ワクチン接種の割合は、全年齢で26.2%（65歳以上では49.3%）。

	人口	1回目接種	2回目接種	3回目接種	4回目接種	5回目接種
		接種割合	接種割合	接種割合	接種割合	接種割合
65歳以上	2,383,870	93.0%	92.8%	89.3%	78.9%	42.3%
60～64歳	465,262	93.5%	93.3%	84.9%	60.4%	19.1%
50代	1,266,584	89.9%	89.6%	74.1%	35.9%	3.6%
40代	1,275,160	80.7%	80.4%	57.2%	20.9%	1.8%
30代	1,000,857	77.4%	77.0%	48.8%	13.3%	1.0%
20代	976,584	75.8%	75.2%	44.6%	9.4%	0.6%
18、19歳	157,229	79.1%	78.4%	39.4%	7.5%	0.1%
12～17歳	459,198	58.4%	57.7%	25.5%	5.2%	
5～11歳	498,998	8.4%	8.0%	2.5%		
不明						
合計(全年齢)	8,800,726	76.9%	76.6%	61.0%	35.9%	13.4%
合計(5歳以上)	8,483,742	79.8%	79.5%	63.3%	37.2%	13.9%
合計(12歳以上)	7,984,744	84.3%	83.9%	67.1%	39.6%	14.8%
合計(18歳以上)	7,525,546	85.9%	85.5%	69.6%	41.7%	15.7%

4回目接種 (60歳以上)
75.9%

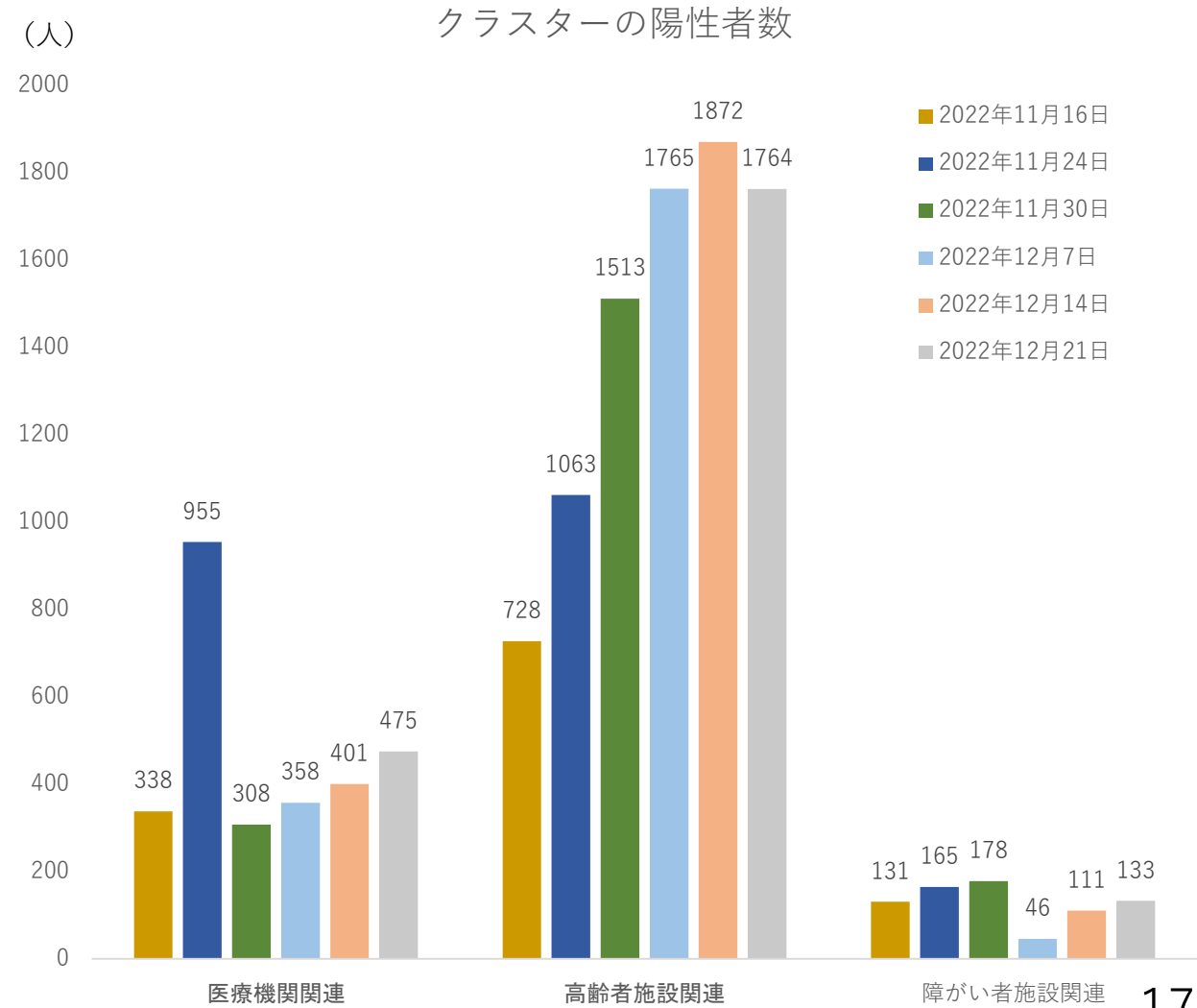
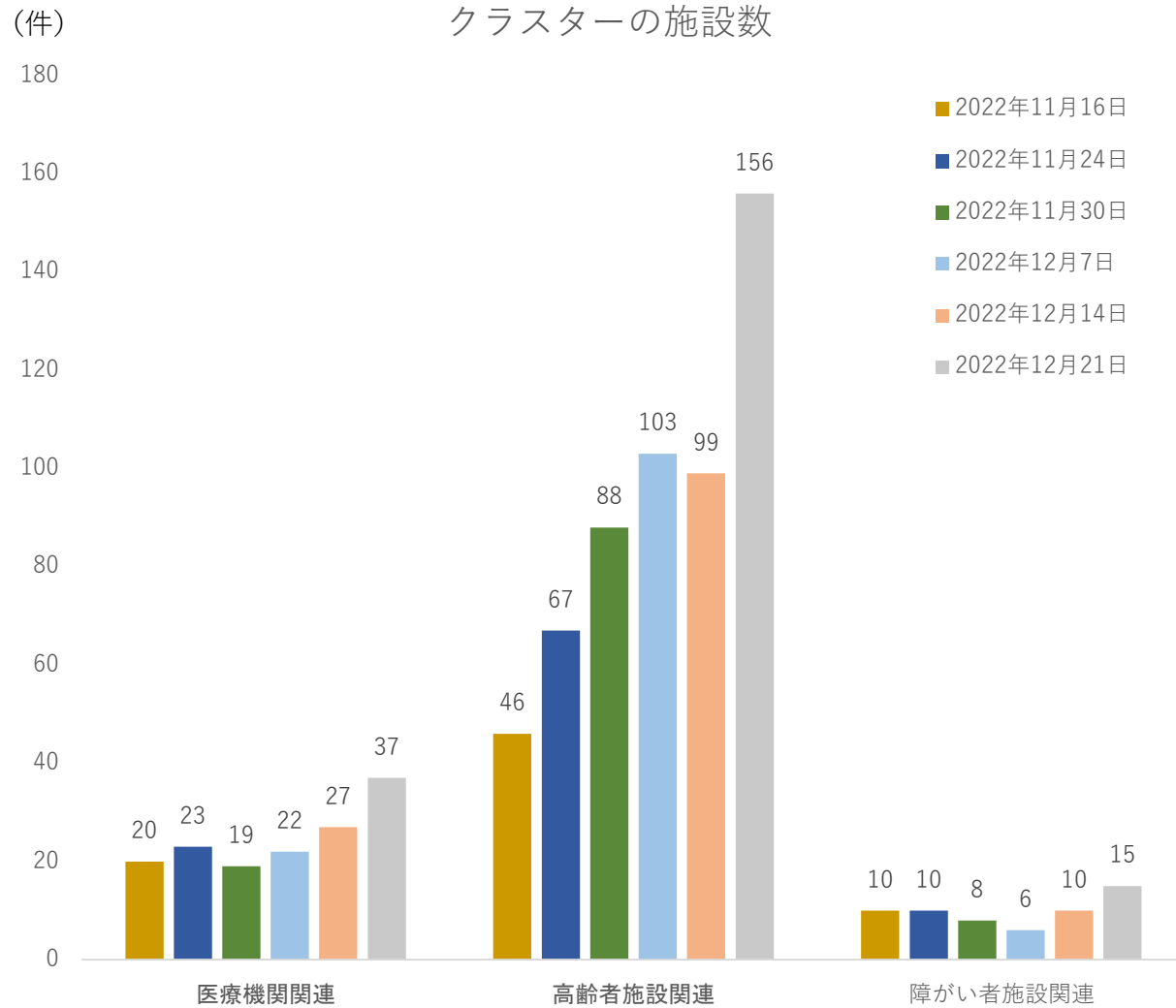
オミクロン株対応 ワクチン接種 (全年齢)
26.2%
うち65歳以上
49.3%

## 2 クラスターの発生状況



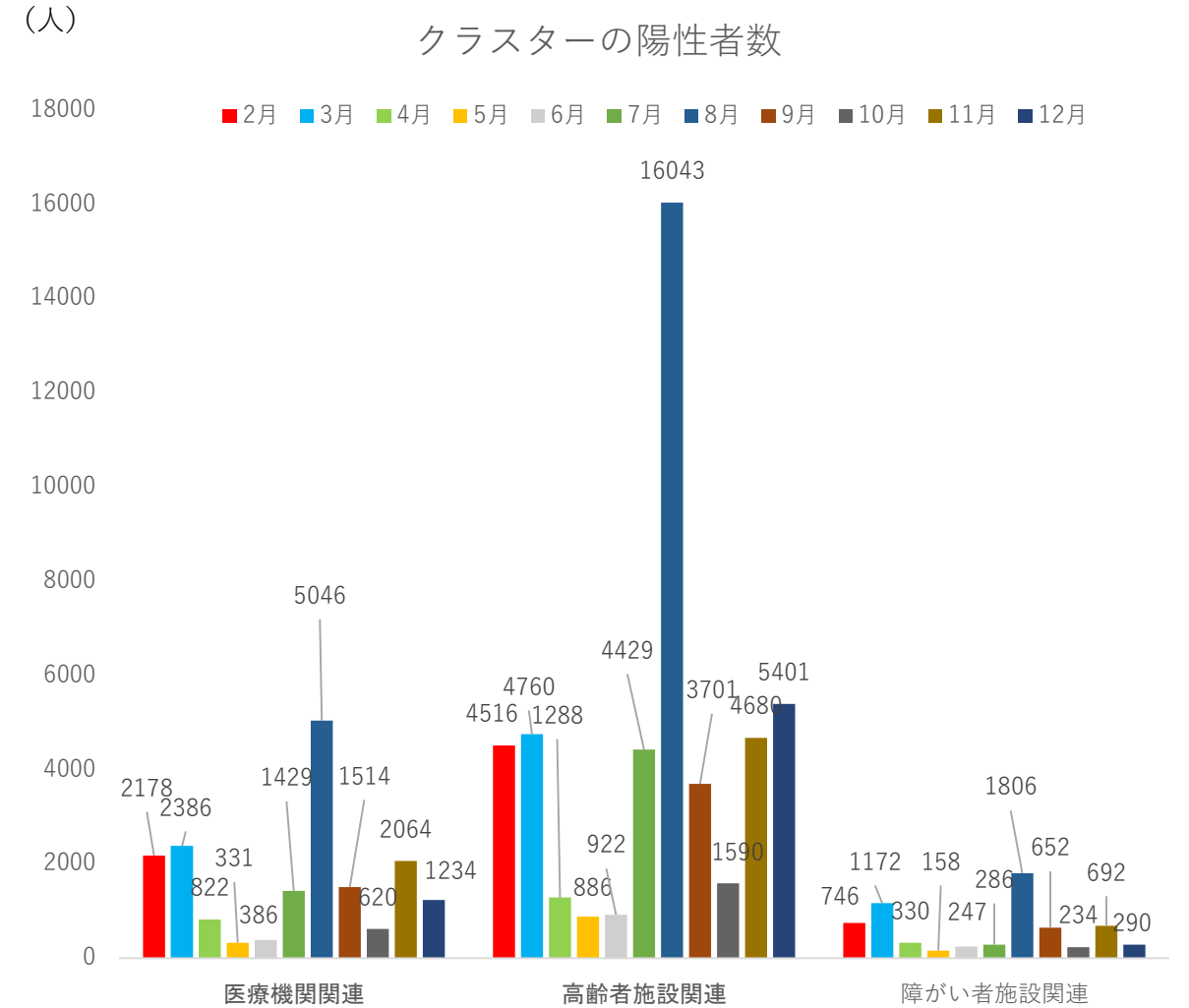
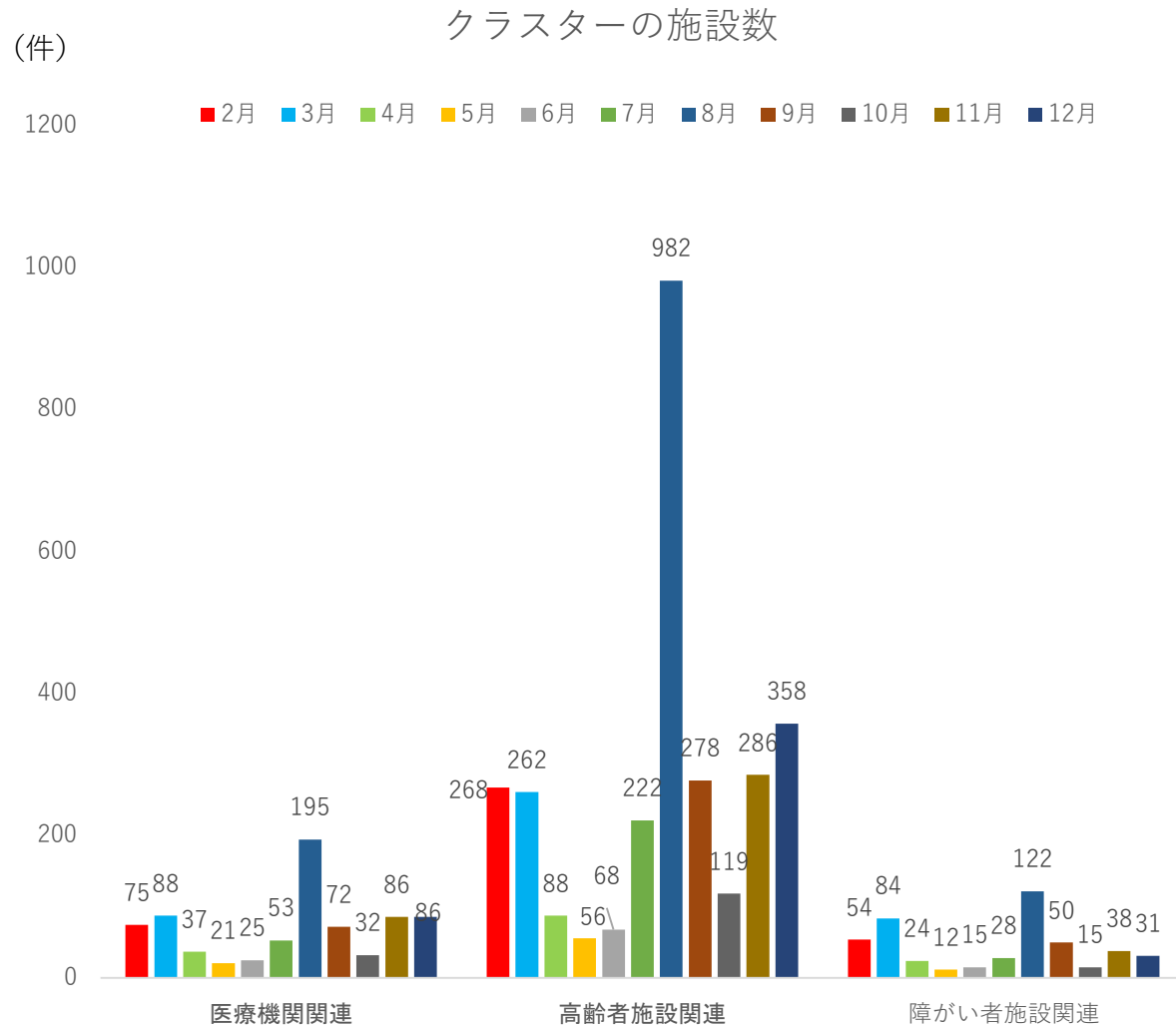
# クラスター状況【実数】（直近6週 週単位）（12月21日公表時点）

◆ 12月21日公表時点の1週間で、高齢者施設関連のクラスター発生数が大きく増加。



# クラスター状況【実数】（公表日別 月単位）（12月21日公表時点）

◆ 12月21日公表時点で、12月における高齢者施設関連クラスターは、2月以降、8月を除いて多く発生。



※8～12月は収束していないクラスターを含む。また、オミクロン株は感染性が高いため、規模の大きいクラスターが一部存在。

### 3 【参考】インフルエンザの流行状況

# 【参考】インフルエンザの流行状況 (大阪府における定点あたりの患者報告数※の推移)

◆ 今年の第50週(12月12日~18日)では0.82であり、前週の0.65から増加。  
青森県、岩手県、東京都、神奈川県、富山県及び熊本県の6都県で流行期入りの目安である1を超過。

※「定点あたりの患者報告数」とは、定点医療機関からの総患者報告数を定点医療機関数で割った数のこと。  
インフルエンザの流行期入りの目安は「1」。  
定点医療機関とは、定点把握対象5類感染症(インフルエンザ等)の発生状況を地域的に把握するため、人口及び医療機関の分布等を勘案して選定した医療機関のこと。インフルエンザの定点医療機関数は「300」。

